



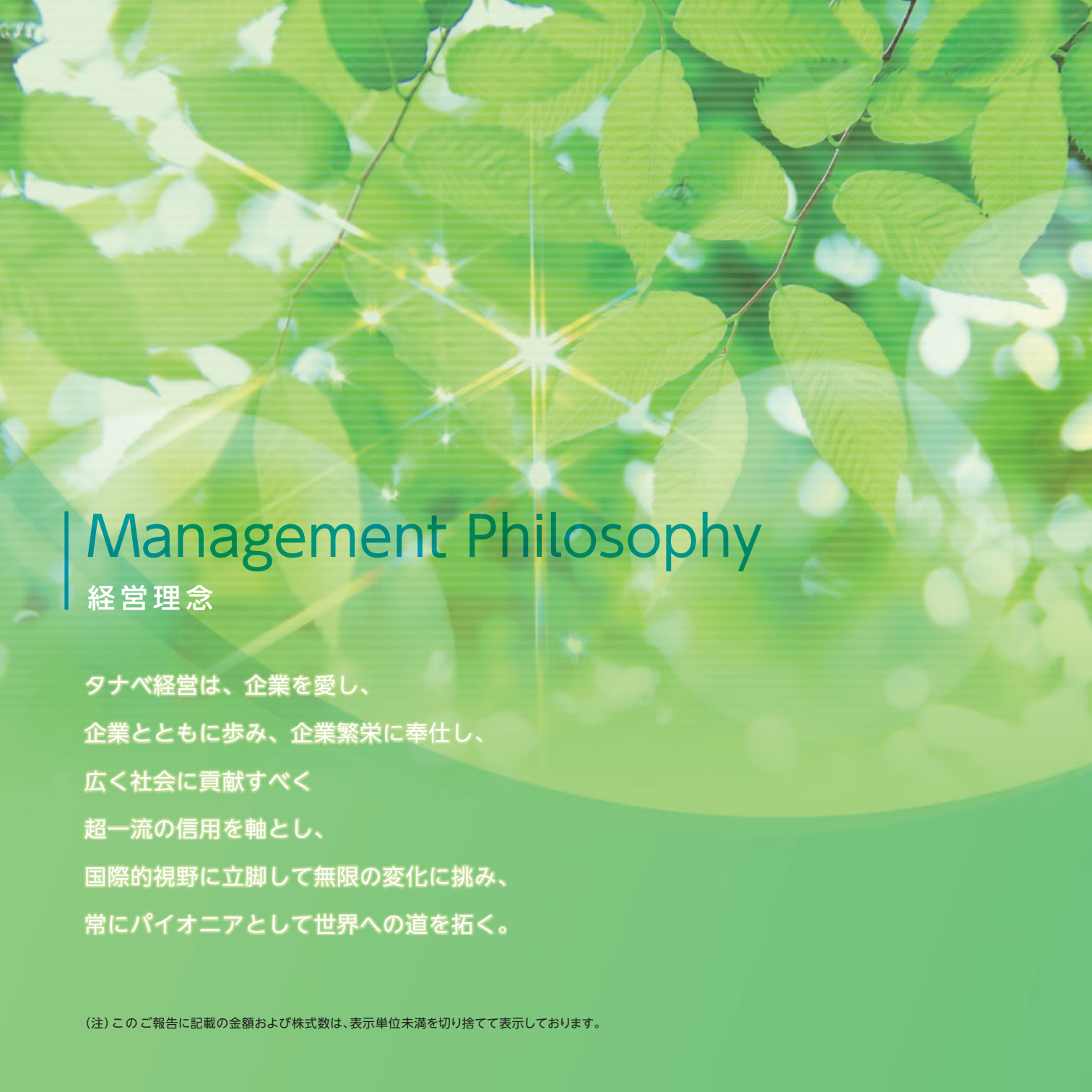
 株式会社 タナベ経営

第51期 ご 報 告

2012 年 4 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日

www.tanabekeiei.co.jp

証券コード 9644



Management Philosophy

経営理念

タナベ経営は、企業を愛し、
企業とともに歩み、企業繁栄に奉仕し、
広く社会に貢献すべく
超一流の信用を軸とし、
国際的視野に立脚して無限の変化に挑み、
常にパイオニアとして世界への道を拓く。

(注) このご報告に記載の金額および株式数は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株主のみなさまへ

To Our Shareholders



代表取締役社長

本元 仁志

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第51期(2012年4月1日から2013年3月31日まで)の事業内容等をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期は、「新中期ビジョンの推進で成長力と収益力のパワーアップ」を基本方針に掲げ、その実現に向けて以下の通りの施策を部門ごとに行ってまいりました。

コンサルティング統轄本部では、CRM(顧客管理)の活用により顧客基盤を強化するとともに、戦略ドメイン研究会およびマネジメント研究会や、ファーストコールカンパニーフォーラムを開催することにより、新たな顧客を開拓してまいりました。

ネットワーク本部では、金融機関、会計事務所、社会保険労務士事務所との提携を進めるために、チャネルごとのサービスメニューを開発し、顧客基盤拡充に注力してまいりました。

SP事業部では、イベントプロモーションを軸に付加価値の高い提案を幅広く行い、顧客基盤の拡大に努めてまいりました。

このような各事業部の取り組みの結果、全社の売上高は過去最高を記録しました。

経済環境としては依然として欧州経済や中国経済の不確実性はあるものの、日本経済は円安・株高へ転換し、デフレ脱却・経済成長に向けた様々な政策も打ち出されていることから、先行きにも明るい兆しが見えつつあります。そのような中で、当社は引き続き『企業の永続発展を支援する』ことを使命に、顧客の声に耳を傾け、創意工夫をしながら、顧客の真のニーズを満たす新たな商品・サービス開発を進めてまいりたいと存じます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2013年6月

コンサルティング統轄本部

▶経営コンサルタントとは

- 企業経営における様々な経営課題に対して解決策をアドバイスする経営のパートナーです。

▶当社のコンサルティングサービスの特徴

- 経営コンサルタントが国内主要10都市の拠点に駐在し、地域密着型コンサルティングを行っております。
- 特定の業種・機能(財務・生産等)にではなく、全体最適のもと、「経営」という視点で企業を診る総合コンサルティングを実施しております。
- 主に中堅・中小企業が対象です。

▶主なコンサルティング例

- 事業戦略の推進サポートと経営判断のアドバイス
- 組織設計、組織活性化、人材育成
- 賃金制度等の経営システムの構築支援
- 収益構造改革(生産現場改善等)、財務構造改革
- 事業継承、後継体制づくり

当社のコンサルティングの姿勢

ニーズに対して
パッケージ・パターンをただ当てはめる
(部分最適)

のではなく

その時々が生じる問題を総合的に
企業の全体を見ながら判断
(全体最適)

企業の永続発展

三現主義

半世紀を超える三現主義(現実・現場・現品)コンサルティングから生まれた「実証済みのメソッド」を基に現状を総点検。問題の本質を踏まえて現場から戦略・ビジョンを導き出す。

判断

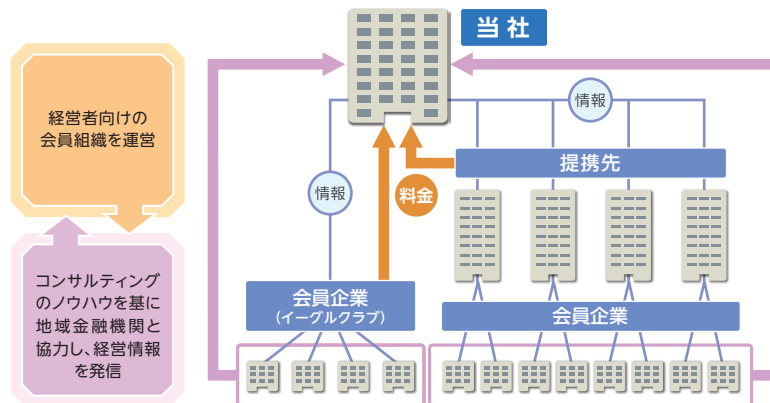
戦略・ビジョンには高度な経営判断が求められる。「判断」を中立的・客観的立場で提言。

実行

提供した判断に基づき、戦略・ビジョンを実行レベルまでサポート。永続発展を実行できる人材を育て、正しい社風を創り出すまでサポート。

ネットワーク本部

1959年に経営者の勉強会組織「イーグルクラブ」を発足したことがネットワーク本部の始まりです。現在では、経営者向けの会員組織を運営するとともに、半世紀に亘り培ってきたコンサルティングノウハウをまとめた経営情報を提携する金融機関、会計事務所、社会保険労務士事務所等を通じて継続的に発信することにより、将来のお客さまとのリレーションを強化しております。



SP事業部

1959年に創業者の提案により、経営コンサルタントが考えた「ビジネスに役立つ手帳」としてブルーダイアリーが誕生したことがSP事業部の始まりです。現在では、ノベルティやマーチャンダイジング、プロモーションサポート等、事業活動の幅を広げております。

企業の販促活動からブランド力・知名度向上を通じて、企業の成長をサポートしております。



ノベルティ

企業のイメージアップ・販売促進を目的とした販促ツールの企画から製作・納品

ブルーダイアリー

1959年発行のビジネス手帳
年末贈答品や社員手帳として

マーチャンダイジング

これまでの商品企画や調達、製作ノウハウを活かして、企業の販売用商品製作をお手伝い

プロモーションサポート

ロゴ作成や年間を通じた販促における企画から、イベント・展示会への出展、会社案内等の製作など、企業の販売促進に係わる活動をトータルで企画、提案

事業の概況

Operating Results

コンサルティング 統轄本部

主力の経営協力をはじめ、各種会(戦略ドメイン・マネジメント研究会)やセミナー等も好調に推移し、トータル売上は右記の通り増加しました。

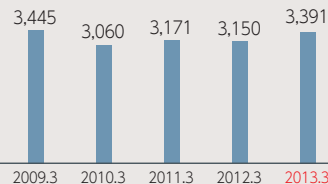
売上高

33億91百万円

前期比240百万円(7.6%)の増加

46.3%

(単位:百万円)



ネットワーク本部

有料会員数の増加や提携先等への勉強会売上が好調に推移し、トータル売上は右記の通り増加しました。

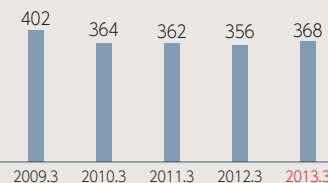
売上高

3億68百万円

前期比11百万円(3.2%)の増加

5.0%

(単位:百万円)



SP事業部

セールスプロモーション商品は、年間を通じて好調な受注状況が続き、またビジネス手帳の売上も前年並みで推移し、トータル売上は右記の通り増加しました。

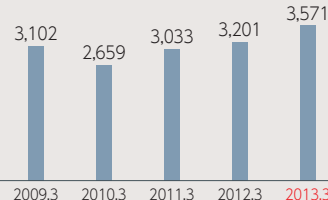
売上高

35億71百万円

前期比370百万円(11.6%)の増加

48.7%

(単位:百万円)

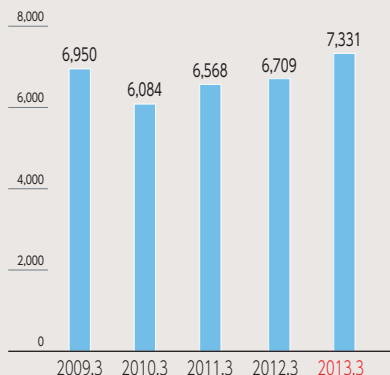


決算ハイライト

Financial Highlights

売上高

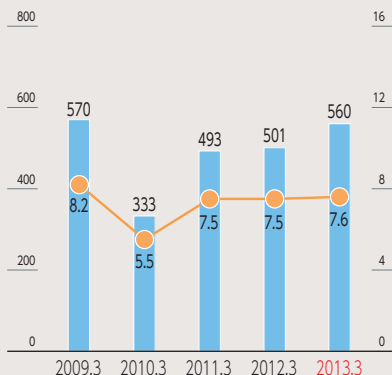
(百万円)



営業利益・営業利益率

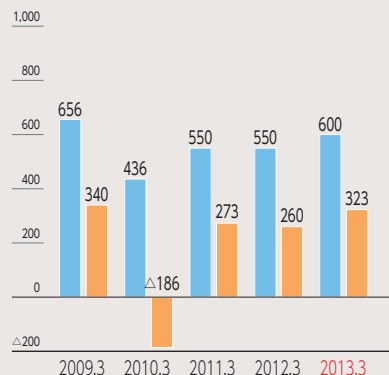
■ 営業利益 (百万円)

—●— 営業利益率 (%)



経常利益・当期純利益

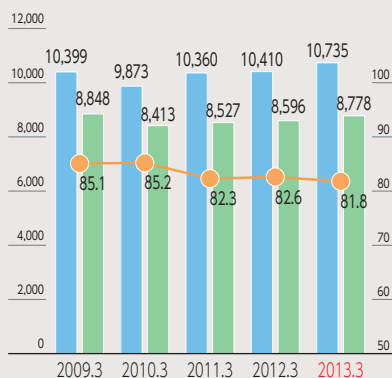
■ 経常利益 ■ 当期純利益 (百万円)



総資産・純資産・自己資本比率

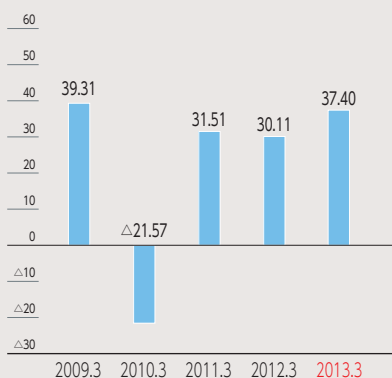
■ 総資産 ■ 純資産 (百万円)

—●— 自己資本比率 (%)



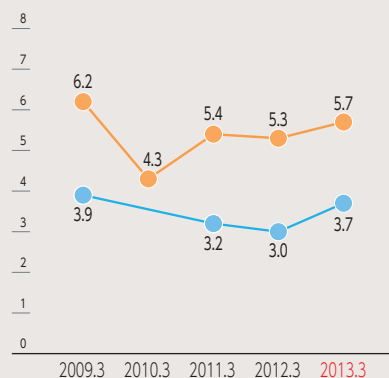
1株当たり当期純利益

(円)



ROE・ROA

—●— ROE —●— ROA (%)



ROE：株主資本利益率 ROA：総資産経常利益率

※2010年3月期におけるROEは、当期純損失のため記載はありません。

TOPICS

トピックス

セミナー・書籍等のご紹介

セミナーのご紹介

▶ ファーストコールカンパニーフォーラム2013



2013年2月から6月まで全国8都市で開催しており、その内、当期に開催した4都市において延べ316社、499名の経営者・後継者・幹部の方々にご参加頂いております。

「100年先も一番に選ばれる会社」これを、当社ではファーストコールカンパニー（以下、FCC）と定義しております。どの会社も、FCCを目指さずには、昨今の厳しい経営環境で勝ち残るのが難しくなってきております。

FCCフォーラムは、FCCへ挑む全国の経営者の方々の集いです。「FCCの条件とは一体何か!？」当社のトップコンサルタントやFCCの経営者が、その真髄を語ります。

また、懇親会を開催し、参加者同士で親交を深めて頂き、会の終わりには、参加者の方々が自社の「FCC宣言（どのような分野においてFCCになるのかを宣言する）」を行うなど、毎回みなさまにとてもご満足頂いております。



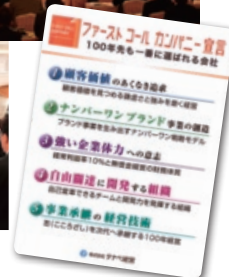
▲講義風景



▲ゲスト対談▶



▲情報交流会



経験科学



取締役 南川 典人

「100年先も一番に選ばれる会社」を創る

日本経済は今、新たなビジネス潮流が生まれつつあります。当社では、このような構造転換期後の経営コンセプトとして、「FCC宣言」を提唱しております。

FCCとは、「顧客が真っ先に思い出し、一番に声のかかる会社」のことです。FCCの特性は、①顧客価値のあくなき追求 ②ナンバーワンブランド事業の創造 ③強い企業体力への意志 ④自由闊達に開発する組織 ⑤事業承継の経営技術 の5つです。

当社は自らFCC宣言をするとともに、「100年先も一番に選ばれる会社」に共感、共鳴頂く会社を育て、増やすことを使命に全力で取り組んでまいります。

▶▶▶ 新刊のご紹介



『競争力を高める 戦略連動型 企業DNA別人事制度』

著者：株式会社タナベ経営 企業DNA別人事制度コンサルティングチーム

企業の競争力の源泉は組織風土にあり、それを「企業DNA(遺伝子)」と定義します。そして、この企業DNAを強化する方法の中でも、自社にマッチした「人事・賃金システム」を構築することは非常に重要です。

それぞれの企業DNAにマッチした人事・賃金システムとはどうあるべきかの研究成果をまとめ上げたものが本書であり、「多くの企業さまに自社の競争力を磨き続けるシステムを構築して頂きたい」というタナベコンサルタントの想いがこもった1冊です。

戦略ドメイン&マネジメント研究会のご紹介



ファーストコールカンパニー「100年先も一番に選ばれる会社」を目指して、当社では次代に取り組むべき戦略ドメイン(事業領域)やマネジメントを研究しております。

▶『ヘルスケアビジネス戦略研究会』(年6回)

成長マーケットであるヘルスケアビジネスの成功モデルを現地現場の視察により学んで頂く研究会です。同行する当社コンサルタントが企業経営の視点から重要ポイントや成功要因等を分かり易く解説します。



▶『環境ビジネス成長戦略研究会』(年6回)

今後ますます成長が見込まれる環境分野をうまく自社ビジネスに結びつける戦略を、実際に環境ビジネスマーケットの現場で学んで頂く研究会です。本年5月より開始し、現在好評を博しております。



▶ その他の研究会

上記以外の「食品ビジネス成長戦略研究会」(年6回)、「経営の見える化研究会」(年4回)、「人材成長戦略研究会」(年6回)も全国展開しております。



Zoom! UP!

ズームアップ

Blue DIARY

経営コンサルタントが考えた

50年以上愛される ビジネス手帳



長年ご愛顧頂いております当社のロングセラー商品に、「ブルーダイアリー」があります。お陰さまで、当期は330万冊の販売実績となりました。

当社創業者である田辺昇一(現・ファウンダー名誉会長)が、日本でのコンサルティング活動が創生期の頃、お客さまに「コンサルタントが開発した手帳はさすが便利だ」と重宝して頂けるように幾度も失敗・試行錯誤を重ねて、1959年に生み出したものです。

名前の由来としては、「ブルーブラッド(毛並みのいい)」「ブルーチップ(優良株式銘柄)」「ブルーリボン賞(日本の映画賞)」等の超一流の名称から連想し、「超一流の手帳」という想いから名付けました。

このように創業者の想いがこもった手帳を是非使って頂きたく、9月末時点の株主のみなさまに、特製株主手帳(本革製・ブルーダイアリーNE)をお送りさせて頂いております。

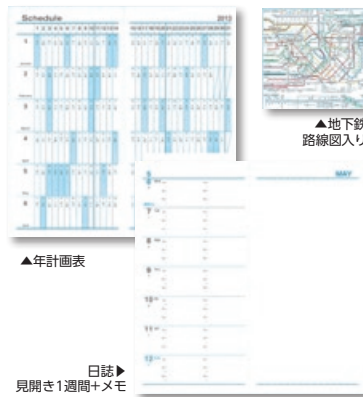
ブルーダイアリーヒストリー

- 1959 ビジネスに役立つ手帳として、「BD」を販売開始
ご要望に応じて、年末贈答用にも展開
- 1960 ポケットにすっぽり入る大きさ
ポケット版の「BJ」販売
- 1964 これまでにないサイズのリング式ダイアリー
「BM」発売
- 1979 B5サイズのデスク判シリーズ発売
- 1989 スリムタイプシリーズ発売
- 1992 4月始まりのダイアリー「AC」発売
- 2002 環境に配慮したエコダイアリーシリーズ発売
- 2010 環境配慮型製品をご提供するためにFSC認証取得

製本 強度と利便性



1年間使用に耐える堅牢性
筆記時の開きの良さ
綴っている時のスリム感



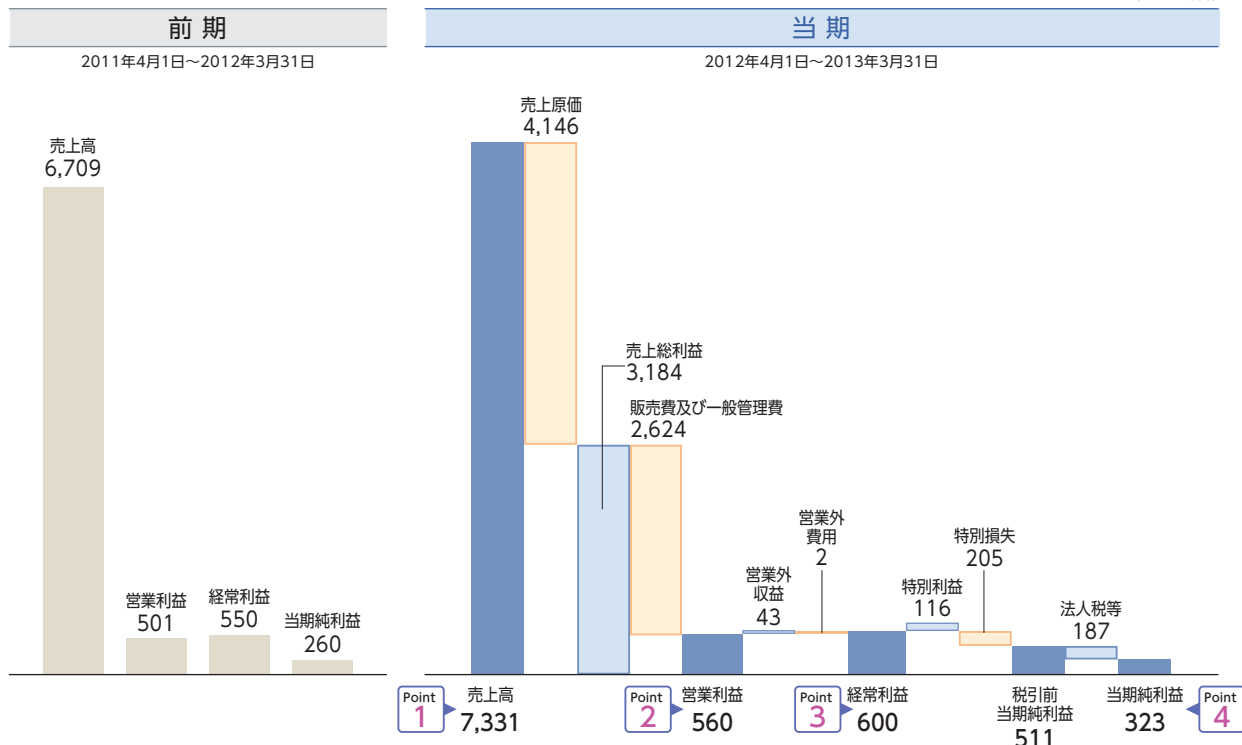
▲年計画表

▲地下鉄
路線図入り

日誌▶
見開き1週間+メモ

損益計算書の概要

(単位:百万円)



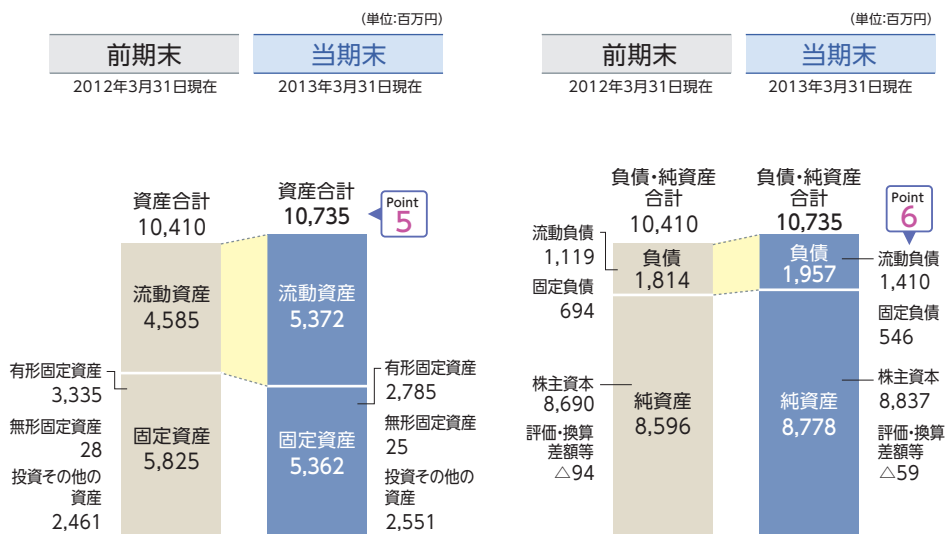
Point 1 売上高 コンサルティング統轄本部7.6%、ネットワーク本部3.2%、SP事業部11.6%とそれぞれ増加し、トータル9.3%の増加となりました。	Point 2 営業利益 売上高増加が大きく寄与すると共に、各種経費節減にも努めた結果、11.8%の増加となりました。	Point 3 経常利益 営業利益は11.8%増加しましたが、営業外収益が16.0%減少したため、経常利益は9.1%の増加となりました。	Point 4 当期純利益 税引前当期純利益は5.7%減少しましたが、法人税等の減少により、当期純利益は24.2%の増加となりました。
--	--	---	--

財務情報の開示について

詳細な財務情報については、当社ホームページの「IR情報」にて開示しております。下記のURLからご参照ください。

<http://www.tanabekeiei.co.jp>

貸借対照表の概要



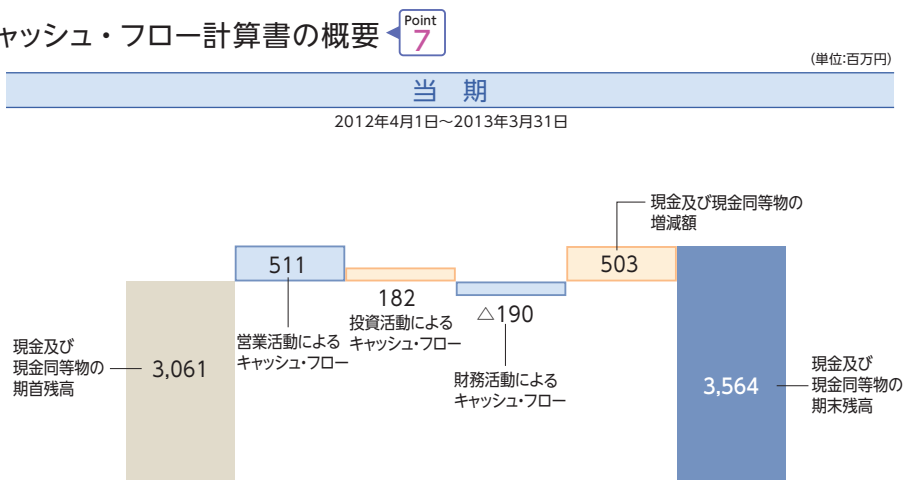
Point 5 資産

固定資産の売却・減損により、固定資産は4億62百万円減少しましたが、売上高増加等により、流動資産は7億87百万円増加しました。よって、資産トータルでは、3億24百万円の増加となりました。

Point 6 負債

役員退職慰労引当金の減少により、固定負債は1億48百万円減少したものの、未払法人税等の増加により、流動負債は2億90百万円増加したので、負債トータルでは1億42百万円の増加となりました。

キャッシュ・フロー計算書の概要



Point 7 キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前当期純利益の増加と固定資産の減損損失、役員退職慰労引当金の減少等により5億11百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の売却収入等により、1億82百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、1億90百万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は、35億64百万円となりました。

株式の状況 (2013年3月31日現在)

Stock Information

発行可能株式総数..... 35,000,000株

発行済株式の総数..... 8,754,200株

1単元の株式数 100株

株主数..... 7,682名

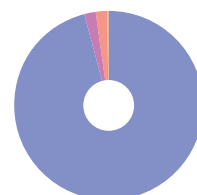
大株主の状況(上位10名)

株 主 名				持株数	持株比率
田	辺	昇	一	1,474 (千株)	17.0 (%)
田	辺	次	良	562	6.4
田	辺	英	子	507	5.8
田	辺	洋	一 郎	507	5.8
榑	崎	十	紀	447	5.1
タ ナ ベ 経 営 取 引 先 持 株 会				295	3.4
タ ナ ベ 経 営 社 員 持 株 会				220	2.5
上	田	信	一	151	1.7
田	原	敏	男	144	1.6
木	元	仁	志	137	1.5

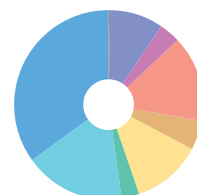
(注)持株比率は自己株式(90,633株)を控除して計算しております。

〔株式分布状況〕

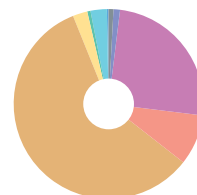
所有者別



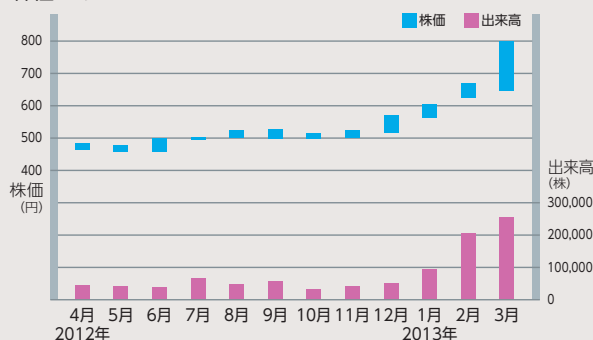
所有株式数別



地域別



株価チャート



会社の概況

Corporate Profile

商 号	株式会社タナベ経営 TANABE MANAGEMENT CONSULTING CO., LTD.	(2013年4月1日現在)
本 社 所 在 地	大阪市淀川区宮原3-3-41	
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.tanabekeiei.co.jp	
創 業	1957年10月16日	
設 立	1963年4月1日	
資 本 金	1,772百万円	
従 業 員	289名	
役 員		

代表取締役会長	田 辺 次 良	(2013年6月25日現在)
代表取締役社長	木 元 仁 志	コンプライアンス担当 田辺企業管理諮詢(上海)有限公司董事長 拓探員貿易(上海)有限公司董事
取締役副社長	若 松 孝 彦	コンサルティング統轄本部長 兼 ネットワーク本部・管理本部担当 田辺企業管理諮詢(上海)有限公司董事
専務取締役	長 尾 吉 邦	コンサルティング統轄本部副本部長 東京本部・東北支社・新潟支社担当 田辺企業管理諮詢(上海)有限公司董事
常務取締役	三 宅 弘 章	SP事業部長 兼 中国担当 田辺企業管理諮詢(上海)有限公司董事 拓探員貿易(上海)有限公司董事長
常務取締役	大 川 雅 弘	企画開発部・中部本部・北陸支社担当
取 締 役	中 東 和 男	ネットワーク本部長
取 締 役	中 村 敏 之	大阪本部・北海道支社・中四国支社担当
取 締 役	南 川 典 人	西部本部・沖縄支社担当
常勤監査役	筒 井 博 貴	田辺企業管理諮詢(上海)有限公司監事 拓探員貿易(上海)有限公司監事
社 外 監 査 役	谷 宜 憲	弁護士(谷宜憲法律事務所代表)
社 外 監 査 役	矢 崎 晴 久	エム・ユー・トラスト・アッププラン ニング株式会社 代表取締役社長 櫻瀬談株式会社 社外監査役

ネットワーク

Network

事 業 所		(2013年6月25日現在)
本 社	〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41	
コンサルティング統轄本部		
東 京 本 部	〒150-6034 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー34F	
中 部 本 部	〒450-0002 名古屋市市中区名駅4-6-17 名古屋ビルディング5F	
大 阪 本 部	〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41	
西 部 本 部	〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡12F	
北 海 道 支 社	〒060-0005 札幌市中央区北5条西2-5 JRタワーオフィスプラザさっぽろ11F	
東 北 支 社	〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー15F	
新 潟 支 社	〒950-0087 新潟市中央区東大通1-2-23 北陸ビル5F	
北 陸 支 社	〒920-0856 金沢市昭和町16-1 ヴィサージュ5F	
中 四 国 支 社	〒730-0016 広島市中区幟町13-4 広島マツダビル10F	
沖 縄 支 社	〒900-0015 那覇市久茂地1-12-12 ニッセイ那覇センタービル10F	

名古屋研修センター	〒481-0041 愛知県北名古屋市九之坪山73-1
企 画 開 発 部	〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41

ネットワーク本部	〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41
----------	--------------------------

SP事業部

営 業 本 部	
東 京 営 業 部	〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-12-8 八丁堀SFビル5F (東京一課・二課・五課) イベントプロモーション課
東 京 三 課	〒330-0845 さいたま市大宮区仲町1-104 大宮仲町AKビル4F
東 京 四 課	〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-19 富士火災横浜ビル4F
大 阪 一 課	〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41
名 古 屋 営 業 所	〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26 昭とビル6F
福 岡 営 業 所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-18-25 第五博多偕成ビル10F
特 販 部	〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-12-8 八丁堀SFビル5F
管 理 部	〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-12-8 八丁堀SFビル8F

拓探員貿易(上海)有限公司

〒200336 上海市長寧区婁山関路83号新虹橋中心大厦26階2661室

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (フリーダイヤル)
上場証券取引所	大阪証券取引所JASDAQ市場
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL http://www.tanabekeiei.co.jp/koukoku/index.htm ただし、やむを得ない事由により電子公告を行う ことができない場合は、日本経済新聞に掲載いた します。

お知らせ

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行各本支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
4. 当社では毎年9月30日現在、100株以上保有の株主のみなさまに当社の特製手帳を贈呈いたします。ご愛用いただければ幸甚に存じます。
5. 当社は2013年6月現在、大阪証券取引所JASDAQ市場に上場しておりますが、現物市場統合に伴い、2013年7月16日より東京証券取引所JASDAQ市場へ移行となります。



有害廃液を排出しない
「水なし印刷方式」を採用しています。

株主さま向け
アンケート

株主のみなさまの声を お聞かせください

当社では、株主のみなさまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9644

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



- アンケート実施期間は、本書がお手元に
到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を呈星させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する
「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なし
にこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問合せ
「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
MAIL:info@e-kabunushi.com



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。



環境にやさしい植物油
インキ(ベジタブルインキ)
を使用しています。